

## 【特別寄稿】 平成 27 年度 筑波大学 履修証明プログラム 開講式

(平成 27 年 4 月 12 日 於 筑波大学 4B-209)

医学医療系 臨床医学域 二宮 治彦 教授

本日、筑波大学履修証明プログラム「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」の履修生としての学習を開始される皆様、おめでとうございます。ご多用中、開講式にご参加くださり、ありがとうございます。

本日、CoMSEP の中心的な事業の 1 つである「履修証明プログラム」の記念すべき初年度の開講式をここに開催できることを、関係する教職員一同、うれしくおもっております。

CoMSEP の履修証明プログラムは、メディカルスタッフとしてすでに社会で活躍している方々の、学び直しの機会を、筑波大学が茨城県立医療大学との連携によって提供し、メディカルスタッフの専門分野の視野の拡大と専門性の深化を目指し、結果として臨床実習における指導能力の充実を目指すプロジェクトです。

初年度にも関わらず、本年のプログラムに多くの方々から関心と賛同をお寄せいただきました。社会人にとっての新たな学びの場を開設できることは誠に意義深いことであるとの自負をもって準備をまいりました。

実は、定員 11 名とする募集要項でしたが、3 倍を超える応募をいただきました。申し訳ないのですが教育の質も大事なので、一部の方々には来年度以降の履修に回っていただくようお願いいたしました。

正直申し上げますと、すでに医療機関でプロフェッショナルとして忙しく働いていらっしゃる方々に本プログラムに参加いただけるのか、不安でありました。しかし、期待以上のご応募をいただいたことで、我々の目指している、生涯の学びとプロとしての視野の拡大とスキルアップというコンセプトは間違っていないという確信ができ、背中を大きく押していただいたように感じております。

本日、入講される皆さんは、すでに十分な資格とキャリアを有して、プロフェッショナルとして働きつつ、さらに学ぼうとする強い意思をもってここにお集まりいただいたの方々です。

誤解を恐れずに言わせていただければ、皆さんはすでに成功者である、と私は思います。人生の成功者であるとともに、医療に携わるヒトとして、成功者です。多くの人々は、日々の忙しさに忙殺され、その日その瞬間を何とか己の持てる全力を出して乗り切っているものです。実は私自身のことです。

それはそれで立派なことですが、心のどこかで、もっと学びたい、もっと違う世界をのぞいてみたい、最新の知識も必要だと感じています。しかし、実際にそのための時間と労力を割くことは、やはりときに、自分自身への負担となって帰ってきます。しかしながら、皆さんはあえてその挑戦を自ら選択しました。その時点において、すでに皆さんは成功者である、と私は思っているのです。

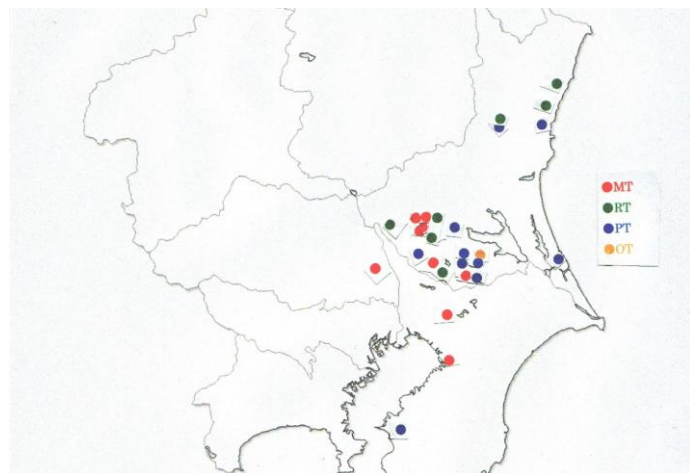
どうか皆さんは、本履修証明プログラムの第1期生として、生涯の学びというコンセプトを拓げていく先駆者となっていただきたいと考えています。学びのすそ野を拓げていくことはこれからの時代、これからの医療技術者においても不可欠なことになっていくはずです。そして、将来は働くことと学ぶことを誰もが交互にできる、そんな時代になっていくことを願っています。これまで卒業すれば大学との関係はおわりという感がありましたが、願わくば、筑波大学と茨城県立医療大学はこの履修証明プログラムの開設を通じて新たな貢献をできれば、と願っている次第です。

本プロジェクトはまだ生まれたばかりです。私どもも全力を挙げて、よいプログラムに育てていきたいと考えておりますが、どうか皆さんにも是非そのお手伝いをお願い申し上げます。受講内容・システムについて、忌憚ないご意見をいただき、一年一年より良い形を作り上げたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様にとって、今年が更なる飛躍の年になりますことを祈念しまして、開講式のご挨拶といたします。



平成 27 年度 履修証明プログラム  
開講式（平成 27 年 4 月 12 日）  
参加 24 名



平成 27 年度 履修証明プログラム  
履修生（29 名）  
勤務医療機関（MT 11, RT 8, PT 9, OT 1）

筑波医療科学 第11巻 第2号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 磯辺智範 二宮治彦
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2015年4月27日